

はつもうで

『初詣の参拝』

歳の瀬も押し迫り、新年を迎える準備が始まります。元旦には新しい年の無事や幸せを祈る初詣。近年では、地元の方はもとより、遠方からも多くの方が河口浅間神社へお参りして頂いております。これから迎えます平成28年もよい年でありますよう、皆さんおそろいのご参拝をお待ちいたしております。神社では皆さんの幸せを願い、氏神様にお祈り申し上げます。



図一1 河口浅間神社の大鳥居

(厄年や喜寿などの団体でのご参拝、お祓い、お札の授与をご希望の方は、12月30日までに神社へ申し込んでください。)

『神宮大麻(お神札)を頒布します』

新年を迎えるにあたり、毎年、自治会の協力により、自治会加入世帯の各戸に伊勢神宮の大麻を頒布しています。まだお札をお受けになられていない方は神社にて頒布しますので、ぜひ、年内に神宮大麻をお受けになり、新年をお迎えください。一般的な神宮大麻で1,000円です。土曜日、日曜日、および祝日に授札所、または社務所にてお授かりください。

『三宝荒神と水神の御幣を頒布します』

神社では三宝荒神さんと水神さんの御幣を、ご希望の方に無料にて頒布しますので、神社にてお受けください。日頃の生活の中で神をお祀りし、家内安全、家族の幸せをお祈りしましょう。

『神社の諸行事や清掃奉仕に感謝』

年間を通じて神社では多くの行事が執り行われますが、これら諸行事の執行には、河口地区の皆さんのご奉仕によるご協力によって支えられています。今年も多くの皆さん、各団体の協力があり、行事を執り行うことができました。

○ 宮世話(第2自治会7組、8組)

○ 隣組 毎による神社諸行事の度の清掃奉仕

○ 老人クラブによる毎月1日の清掃奉仕

○ 賛助会の神社の管理や啓発の協力。ボランティアガイド(土日祝日)出務の協力

○ 稚児の舞関係者の皆さんや御神輿番など伝統行事参加の協力

神社では、伝統ある神社を大切に守る皆さんのお心がけに厚く感謝申し上げます。

『賛助会による正月を飾る注連縄づくり』

12月23日(水)午前8時30分から賛助会による神社の歳の瀬を向かえるための整備活動が行われます。今回の作業は参道入り口の冠木門などの注連縄づくり、文化財である七本杉や柵の木に注連縄を飾り、境内の清掃が行われます。

『道祖神まつり 御神木の行事』

小正月には道祖神まつりが行われます。河口で道祖神まつりが行われたのは、江戸時代の弘化年間(1844~1847)頃との説がありますが、それより古くから行われていたことも考えられます。本来は上町、中町、下町の三町で

各々1本、合計3本の御神木を建てていましたが、現在では三町が交代で当番区となり、神社脇の道祖神前(消防団詰所広場)に1本の御神木を建てます。御神木保存会の指導のもと、^{やくとし}厄年、自治会の皆さんが一体となり、30~40メートルの巨木を建立します。御神木の代表的な行事は次の通りです。

御神木下見、切り出し準備 ^{ふじ つる}御神木を決めて、切出しに使う藤の蔓を集めます。

御神木の切り出し 1月5日。御神木をみんなで力を合わせて山から引き出します。

梓建て、切りはい 13日。建立の支えとなる梓を建て、御神木飾りを作ります。

御神木建立 14日8時30分より。みんなの力を合わせて御神木を建立します。

御神木倒し、花づくり ^{おしめ}御神木を倒し、飾った御注連から各戸配布の花を作ります。

^{やまのかみ}このほか、小正月の行事として、1月16日夜から17日未明にかけて行われる山之神の祭事があります。山之神は山や田畑の守り神。弓矢を射って悪魔を払います。

『河口浅間神社創建1150年祭地区を挙げて賑やかに祝う』

貞観6年(864)に富士山が大噴火を起こし、富士北麓は大きな被害を被りました。この惨状を甲斐の国司が朝廷に進言し、天皇の勅命により、翌年の貞観7年(865)12月9日に浅間の神を祀り富士山を鎮める神事が行われました。これが河口浅間神社の起源であり、今年で創建1150年を迎え、記念事業および記念行事が行われました。

記念事業は以下の通りです。

・本殿塗装工事、本殿と拝殿の間の屋根改修工事、山宮神社の鏡台設置と同社から富士山の眺望を確保する整備工事、手水舎から山宮に至る「浅間古道」整備、「河口古絵図」の修復、天然記念物「七本杉」の説明版設置が行われ、更に大鳥居に掲げられている「三国第一山」の扁額の修復も計画されています。

12月5日には創建1150年祭が行われました。日頃河口地区のためにご尽力を賜る関係機関から御来賓をお招きし、午前10時に拝殿にて神事が執り行われ、これからも富士山が日本の象徴として繁栄し、河口地区の皆様が安心して暮らし、ご多幸でありますよう祈念されました。

その後、神前に稚児の舞に加えて各種団体による奉納がありました。演目は以下の通りです。

- ・一絃琴：清虚洞一絃琴宗家四代 峯岸一水氏
- ・湧気行：羽黒派古修験道先達 長谷川智光先生ほか
- ・武道演武：千葉家正伝・北辰一刀流・第七代宗家 椎名市衛成胤一門

富士北陵高等学校剣道部(女子)、河口湖南中学校女子剣道部、河口湖剣道部連盟北道場

午後2時30分より上町、中町、下町の3基の子供神輿が出御しました。担ぎ手には河口小学校の児童、河口保育所の園児の皆さんが多数参加され、参道を練り歩きました。

翌12月6日には記念講演会が行われ、以下の講演がありました。

- ・堀内真先生(山梨県立博物館学芸員)「富士山と浅間神社一貞観の大噴火と鎮火の祭祀一」
- ・武藤郁夫先生(河口小学校校長)「青い眼の人形」
- ・渡辺喜久男氏(次期河口湖町町長)「富士河口湖町の現状と将来について」

2日間にわたる1150年祭は皆さんのご協力により盛大に行われました。これには自治会、賛助会、浅間まちづくりの会、観光協会、上町、中町、下町の各区、育成会、老人クラブ、食改推、保育所保護者会、消防団、安協、警察、食堂関係のほか、河口の多くの方々のご奉仕とご協力を賜りました。ここに感謝し、お礼申し上げます。

河口浅間神社